

第19回 青少年健全育成剣道大会 浜川体育館



六月一日高崎市浜川体育館で剣道連盟高崎支部及び群馬支部共催（高崎中央ライオンズクラブ後援）で第十九回青少年健全育成剣道大会が開催されました。

高崎市と群馬郡で活躍している約四五〇名の少年少女剣士達が集い次々に熱戦を繰り上げました。

この大会は以前高崎警察署が、管内の青少年育成のために長い間開催していたが、諸般の事情により高崎支部及び群馬支

部が、警察署から引き継いで毎年開催しているものです。

第1号
 発行場所 町内
 高崎市石原館
 高崎武道館
 発行責任者 高崎支部
 剣道連盟 高崎支部
 広報担当 上條

この大会は、審判の先生方も格式高くすべて道着袴姿で審判に臨みました。試合は、小学四年生以下による基本技団体戦と個人戦はおおむね学年別に編成されて行われました。

その中で大熱戦が三男子決勝戦で行われました。高南中・大河原と倉渕中・富澤の両選手。延長を繰り返すこと十余回大河原選手

県剣道連盟中島会長（写真左上）そして高崎中央ライオンズクラブ富澤会長がそれぞれ挨拶をされました。公開演舞を打太刀小林晃さん、仕太刀小山信一さん（いづれも群馬支部）のご両名が演じ見学剣士達もこの時ばかりはシーンとその迫力を肌身で堪能しておりました。



将来の大選手たち・・・はちまきで気合十分

果敢に引き技を試みる（写真右下）も決定打なく、最後は、大河原の渾身に放った富澤への小手技を・・・これをうまくすりあげ富澤が面を決めました。大河原選手本当に、



日本剣道形小太刀3本目

惜敗の結果となりました。個人戦は全般的に中学生の部で群馬郡の選手の活躍が目立ちましたが、それでも女子中学一年の部では一位から三位まで高崎が入賞し、そして小学生の部では圧倒的に高崎の選手が活躍しました。



【団体基本技の部】

- ① 高崎警察少年剣道教室 ② 錬心館宮崎道場 ③ 新高尾クラブB. 同 A

【個人男子の部】

- 中学三年 ①富澤直人（倉渕）②大河原（高南）③小池（倉渕）・金井（榛名）
- 中学二年 ①斉川雄一郎（佐野）②中沢（倉渕）③金野（塚沢）・小川（高松）
- 中学一年 ①今井洋輔（高南）②竹内（大類）③得居（高松）・城田（高松）
- 小学六年 ①下谷巧（中島）②庭屋（中島）③岩崎（錬武館）・遠藤（中島）
- 小学五年 ①永田真隆（中島）②谷（高剣）③藤田（錬武館）・城田（中島）
- 小学四年 ①山崎真（錬武館）②清水（発心館）③入部（発心館）・茂木（慶雲館）

【個人女子の部】

- 中学三年 ①濱田景子（榛名）②宮崎（八幡）③高橋（中尾）・矢内（佐野）
- 中学二年 ①唐澤美鈴（倉渕）②原田（倉渕）③相模（倉渕）・矢島（群馬中央）
- 中学一年 ①矢野純子（大類）②高橋（中尾）③庭屋（倉賀野）・山崎（宮崎道場）
- 小学六年 ①安藤稚菜（中島）②風間（中島）③須藤（高警少）・松浦（中島）
- 小学五年 ①岡田沙希（東明館）②原沢（中島）③戸塚（真道館）・森川（久留馬）
- 小学四年 ①後関美由紀（久留馬）②西沢（中央）③大西（箕郷）・下平（真道館）



平成十五年度 支部運営方針決定

☆☆☆☆☆☆☆☆

四月六日高崎ビューホテルで、剣道連盟高崎支部役員総会が開行されました。

藤木支部事務局長からの総会成立宣言の基に、定款により橋本支部長が議長として議事運営にあたり七つの議案について役員のみなさんから承認をいただきました。また、総会中次のような

意思決定及び意見が発表されました。

○浜川大会・社会人剣道大会・フェアリーランド大会の三大会について、今後正式に高崎支部主催行事として開催してゆく。またそれぞれの会計についても参加団体に明確にしていく。
○各会員に対しての通信はこまめに行ってほしい。会

会員の試合への参加意思確認については徹底をしていく(事務局)

○事務局長手当てについて今後検討していく(支部長)
○今回の役員改選で広報担当が設定されているが大会結果など上毛新聞等に積極的に投稿されるよう頑張っていたきたい。(理事長)
○武道館から(高崎剣道教

員によっては各試合参加の意思があっても通信不足で参加できないこともあった。

平成15年度高崎支部組織案

※ 最高顧問	中島 義孝			
※ 顧問	岡田 庸一	本多 義平	須田 八郎	
※ 参 与	古 関 寛	中山 義男	角 田 博	堀 地 信
◎ 支 部 長	橋 本 貞 治			
◎ 副支部長	飯 塚 昭 三	藤 木 正 行	笠 井 秀 昭	
◎ 理 事 長	長 井 憲 一			
◎ 副理事長	淡 島 和 利			
○ 常任理事	(副)青 柳 孝 (中)新 井 国 彦 (連)小 池 秀 俊 (副)堀 越 豊			
	(次)西 山 俊 子			
○ 理 事	高 林 道 谷 勝 彦 中 林 道 萩 原 充			
	中 島 洋 子 長 井 憲 一 深 尾 典 彦			
	曾 嶋 敏 齋 藤 剛 毅 新 高 尾 クラ ブ 松 崎 謙 治			
	道 公 英 の 会 新 井 弘 子 実 業 団 神 山 佳 彦			
◎ 会 計	吉 野 宏 一 須 田 尚 猛			
○ 会計監査	清 水 久 仁 男 秋 野 寛			
◎ 事務局長	藤 木 正 行 兼 任			
◎ 事務局長次	中 曾 根 裕 和 角 田 秀 昭 倉 本 忠			
○ 事務局長	根 岸 信 義 城 田 清 次 狩 野 裕 史 石 田 寛			
	西 山 篤 史			
○ 広 報	上 桑 宏 之			

上記実数総員40名が役員総会を構成する

◎及び○印役職は総会において議決権を有し、※印役職は議決権を有しない

◎印役職は本部役員会を構成する

ご挨拶

群馬県剣道連盟高崎支部長 橋本 貞治



桜花の咲く四月に平成15年度も始まり、すでに盛夏を迎え太陽の光が眩い季節です。支部員の皆様には日々稽古に精励し、ご健勝にて益々ご活躍のこと、お慶び申し上げます。

支部では更なる発展を期するため、改組し新しい役員のもと15年度をスタートさせました。皆様のご協力のもと諸行事も事業計画どおり順調に進んでいます。役員並びに支部員の皆様には、これからも支部発展のために一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

剣道は戦後、GHQにより禁止され、壊滅的打撃を受けましたが、昭和27年講和条約が発効して日本は独立し、剣道は解禁され復活しました。

当支部でも、この多難な一時期を乗り越えて、戦前にも勝る今日の隆盛を見るに至った背景には、(故)古関幸平先生を始め、幾多の先生、先輩の並々ならぬご苦労とご努力の結実した賜物であり、私達はこれを後世に引継ぎとともに、先生先輩の教えを守り、支部発展のために一層の努力をしなければと思います。

剣道は日本古来の尚武の精神に由来し、長い歴史と社会の変遷を経て、術から道に発展した伝統文化です。かつて剣道は、心技・如の教えに則り、礼を修め、技を磨き、身体を鍛え、心胆を練る修業道・鍛錬法として洗練され発展してきました。このような剣道の特性は今日に伝承され、旺盛な活力と清新な気風の源泉として日本人の人格形成に少なからず役割を果たしていると思います。

いまや剣道は世界各国に普及し、国際的に強い関心が寄せられています。我々は、単なる技術の修練や勝敗の結果のみにとらわれず、剣道の真髓から逸脱することのないよう、自省するとともに、このような日本の伝統文化を維持・発展させるよう努力しなければならないと思います。このようなことから全剣連では、「剣道の理念」を定義づけ、「剣道修練の心構え」を掲げ、剣道を学ぶ者の目指すべき指針を明示しています。私達はこの指針に従い剣の理法を研究し、特に師または先輩に対する尊敬の念を失わず不断の鍛錬・練磨に努力すべきだと思ひます。支部員の皆様にはこれからも、ご自愛の上「剣の理法」にかなった稽古に励むと共に益々ご活躍されますことをご祈念いたします。

室) 道場使用料の納入について依頼(副会長)・・・支部合同稽古が週一回あり使用料の負担は今後も市体育公社交渉をしてゆく(事務局)

閉会の挨拶で支部長は「多くの方に、少しずつ力を貸していただき、そして支部運営に絡んでいただきたい」と述べられました。

剣道の理念

剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である。

剣道の修練の心構え

剣道を正しく学び、心身を練磨して旺盛なる気力を養い、剣道の特性を通じて、礼節を尊び、信義を重んじ誠を尽くして、常に自己の修養に努め、以って国家社会を愛して、広く人類の平和繁栄に寄与せんとするものである

春

四月二十九日高崎市寺尾中学校体育館で平成十五年高崎市剣道春季大会が開催されました。



高橋選手をたたえる中尾中の仲間たち



目は明らかに 技は激しく

大会委員長の岡田寺尾中学校長先生が「日頃の練習の成果を十二分に発揮してほしい。また剣道に打ち込める環境を与えて下さっているお父さんやお母さんにぜひ感謝の気持ちを持ってほしい」とあいさつの中で述べられました。

大会委員長の岡田寺尾中学校長先生が「日頃の練習の成果を十二分に発揮してほしい。また剣道に打ち込める環境を与えて下さっているお父さんやお母さんにぜひ感謝の気持ちを持ってほしい」とあいさつの中で述べられました。

その攻めに田代の手元が少しあがった。そこを渾身の小手技にでた高橋選手。(写真右)

気は早く 心静かに 身は軽く

中尾連剣道大会

- 春の大会成績表
- 【団体戦男子】
 - ① 佐野中
 - ② 塚沢中
 - ③ 高松中大類中
 - 【団体戦女子】
 - ① 中尾中
 - ② 高南中
 - ③ 佐野中 倉賀野中
 - 【個人戦男子】
 - ① 竹内(大類)
 - ② 三浦(高松)
 - ③ 後藤(高南)・大河原(高南)
 - 【個人戦女子】
 - ① 井田(中尾)
 - ② 須藤(高松)
 - ③ 田代(高南)・須田(八幡)

両者とも絶対に負けじと互いにチームの威信を背負ってひたすら攻め込む。高橋、田代の攻めをかわし、すかさず、気で攻める。

小兵大兵を制す・・・竹内選手



夏

あつという間に夏になってしまいました。七月二〇日に夏の大会が開催されました。女子団体は春の決勝の顔ぶれで高南中(写真右)と中尾中が対戦である。春は力量均



なりました。この勢いを保って県大会に臨んでほしい。一方男子団体は塚沢中と高南中の対戦だ。男子は全くの力量均衡のなか、塚沢次峰の貫井(写真下左)が気を吐き、面二本を奪取した。結局この二本の面が、勝本数で塚沢チームに勝利を導く結果となりました。



夏の大会成績表

- 【団体男子】
 - ① 塚沢中
 - ② 高南中
 - ③ 高松中 佐野中
- 【団体女子】
 - ① 高南中
 - ② 中尾中
 - ③ 並榎中 八幡中
- 【男子個人】
 - ① 大河原(高南中)
 - ② 齊川(佐野中)
 - ③ 工藤(佐野中)・今井(高南中)
- 【女子個人】
 - ① 宮崎(八幡中)
 - ② 清野(佐野中)
 - ③ 藤田(長野郷中)・井田(中尾中)

閉会式で橋本支部長が「レベルが本当に上がりました。全体的に女子の方が気力に勝っているようだ。また受賞マナーも大変向上した。県大会では大いに頑張ってください」と講評を述べられました。

国体予選 七段選手権

連続優勝 谷七段

六月二十九日、県武道館で第五八回国体県予選が開かれ、高崎支部からも十八名の選手が参加しました。各年齢部門でそれぞれの選手が活躍いたしました。五五歳未満の部では谷選手が決勝戦へ進み、相対するのは前橋支部の小林七段です。

試合は冒頭より気攻めに進み、中盤小林七段の、攻めに出づる瞬をとらえ谷の面技が飛んだ。電光の如くとらえた面に観戦選手のため息と一緒に



審判旗が揃い一本勝ちで優勝。続いて翌週実施された七段選手権も見事に優勝しました。その他若手の小幡・高橋・川原選手らも大活躍しました。

★★★★★★★★★★

古関杯五段選手権 神山選手決勝で惜敗 家庭婦人予選 潮田・岡田選手活躍

六月八日第二十回古関杯五・六段選手権と家庭婦人県予選大会が行われました。支部から五段の部四名、六段の部二名、家庭婦人の部二名が参加しました。

五段の部で沖電気の神山選手が決勝へ進出しました。勢多支部の猪熊選手を相手に序盤に小手を奪われた

神山選手 勢いよく攻め込む 右



ものの、後半戦は得意の面打ちが決まったかと思われる惜しい攻めが随所に見られました。一方家庭婦人の部では、朝田選手が三位に入賞し、

体調も徐々に回復岡田選手 右



今年の春から高崎支部に仲間入りした岡田選手は体調を崩し、立ち上がりは不良。しかし敗者復活戦で二戦を勝ち抜き活躍いたしました。



指摘・指摘・指南・指南



今年度初回の審判講習会が、市武道館で開催されました。支部員二〇名余が参加いたしました。普段指導する立場にいる方も、この日ばかりは生徒の立場、審判規則に則った判定の仕方・審判としての立ち居振る舞い号令の仕方にまで及ぶと、ため息がでてしまう。しかしながら公平な審判は選

その他の大会結果等

- 4月13日第53回群馬県剣道大会 秋野・長井・角田 城田 それぞれの先生方が参加され好演武を披露されました。同日、古関 實先生が高齢者表彰を受賞されました。
- 5月18日第27回県少年剣道練成大会（道場連盟主催） 小学生Aの部 中島道場第三

- 位に入賞 メンバーは永田・風間・安藤・庭屋・下谷（試合順）
- 小学生Bの部 中島道場優勝。メンバーは小泉・城田・松浦・竹内・遠藤（試合順）
- 5月18日県剣道連盟総会 橋本支部長が県副会長にまた飯塚副会長が監事に就任されました。
- 6月14日スポ小西毛地区予選

- 会 県大会出場は次のとおり。
- 小学団体男子 高剣教、中島道場、金井道場、慶雲館、新高尾クラブ◇ 同女子 高警少、中島道場
- 中学生男子個人 工藤、齊川、早田、竹内、根岸、亀田、小林◇同女子 高橋、下谷、須藤、井田、磯田、藤田、清水、清野
- 俣田、安藤

手たちとの信頼の絆である。稽古だけだけでなく審判であります。当日は藤木事務局長が講師を勤め、中尾中の選手たちが模擬試合に協力してくれた。講習会中藤木講師のキビシイ指摘・糾弾が館内に響き渡る場面が数多くありました。

編集後記

四月の役員総会を経て、なんか支部も会報みたいなのがあればな...とそんなご意見もちらつとあったので調子に乗って作ってみました。内容はともあれ、地道な支部の活動を記録し、多くの支部の皆さんに確認していただければと思っております。

会報名称は皆さんに諮らず決めてしまいました。たそがねけんぱにはこつこつと道場へ向かい黙々と修練を重ねていく...そんなことをイメージして創りました。

これから何号作成できるかわかりませんが、出来上がったものは、今後、高崎武道館に留め置いときますので稽古の傍らにご覧いただければ幸いです。

そして今後も仲間の皆さんの協力をいただきながら頑張っ作っていきたくと考えております。私は皆さんと同じに剣道が大好きですから...

広報担当 上條

高崎武道館は現在サマーリフレッシュ中です。八月一杯は利用できません。